

令和7年度 地域包括ケアシステムアドバイザー派遣事業 派遣実績

8市町に18回派遣しました。そのうち、4市町は伴走型支援を活用されました。活用事例は以下のとおりです。

事業別カテゴリー	アドバイザーから支援を受けたい内容や課題と考えていること	アドバイザー
地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> ①地域ケア個別会議や圏域会議の開催の有効性について確認したうえで、個別の支援から地域の課題を抽出するにはどのような視点をもっていくとよいか ②身寄りがいない方の課題を抽出するため、ワークショップを開催する。ワークショップの進め方や課題抽出・課題の整理の仕方、その後の支援体制づくりについて助言を受けたい。 	大学教員/保健師 社会福祉士
地域包括ケア全般・地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ①個別ケースの課題分析から、既存のデータ分析を行うことによる地域課題の把握。 ②地域課題把握のため、地域コミュニティへの調査方法について助言を受けたい。 	大学教員/社会福祉士 大学教員
権利擁護 (成年後見)	<ul style="list-style-type: none"> ①身寄りのない方を取り巻く現状と課題の整理。 ②地域のガイドライン作成 ③身元保証に関する課題への対応 	司法書士 弁護士 大学教員/社会福祉士
在宅医療・介護連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ①病診連携における課題（退院時カンファレンス、病院医師と在宅医との連携、救急対応等）の整理 ②医師の地域医療・在宅医療に対する意識啓発のためのアプローチ ③在宅医療機関における多職種との連携体制の現状把握と支援の方向性の検討 	大学教員
介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ①活動・参加Cの有効性について（エビデンス、他市町の事例を踏まえて） ②リエイブルメントの視点の理解促進 	大学教員